

○研究倫理

本誌へ投稿する論文に関わる研究は、本研究会が定めた、次に示す内容を遵守していなければならない、研究倫理に抵触する論文は受付拒否とする。

1. インフォームドコンセントを得ておくことが重要な研究ではその旨を論文に明記し、ヒトを対象とする場合はヘルシンキ宣言（1964年採択）を遵守したものでなければならない。また、研究課題によっては、所属施設の研究倫理審査委員会またはこれに準じるものの承認が必要となる。
2. 動物を対象とする内容については、著者の所属機関に設置された然るべき委員会で認可されていることを原則とし、かつ「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（投稿時点の最新版）：環境省」、「動物の愛護及び管理に関する法律（投稿時点の最新版）：環境省」、「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（投稿時点の最新版）：文部科学省」、「ARRIVEガイドライン（投稿時点の最新版）：英国3Rセンター」などを参照して科学的および倫理的規範に準じて行なわれていなければならない。編集委員会の判断により動物の取り扱いについて倫理的に問題がある論文は採択しない。
3. 人を対象とする医学系研究については、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和3年6月30日施行）による規定を遵守すること。
4. 臨床試験は、臨床試験登録公開システム（UMIN CTRなど）に登録する
(<http://www.umin.ac.jp/ctr/index-j.htm>)
5. 「臨床研究法」で定める特定臨床研究に該当する研究（未承認・適応外の医薬品に係る臨床研究等）は、同法で定める手続きを経た上で投稿すること。

○その他

1. 投稿原稿は和文で簡潔に記述されたものとする。
2. 本誌の発行は原則として年1回とし、投稿締め切りおよび発行予定日はそれぞれ下記の通りとする。

投稿締め切り	発行予定日
1号	8月末日
	11月28日

投稿原稿が研究会事務局へ到着した日付をもって、受付日とする。
3. 投稿原稿は複数の査読者の意見をもとに編集査読委員会で検討し、その採否を決定する。受理された論文については受付順に掲載する。採用論文の掲載証明は希望がある場合に発行する。
4. 投稿原稿についての問い合わせ等は、研究会事務局とする。

〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町82
神奈川県立歯科大学環境病理学分野内研究会事務局
E-mail : jzca@kdu.ac.jp
5. 著者による校正は、原則として1校までとし、その際には字句の著しい変更、追加、削除などは認めない。校正刷は所定の日までに必ず返却する。
6. 本誌掲載の著作物の著作権（著作権法27及び28条の権利を含む）研究会に譲渡し、委員会の許可無く他誌への掲載は認めない。ただし、論文の内容については著者が責任を負う。
7. 論文の末尾（文献の前）に、原稿内に論じられている主題または資料について利益相反の有無を明記すること。

8. この規定にない事項は、別に編集委員会で決定する。
9. 投稿規定は改正することがある。

○著者

「著者」(Author)とは、通常、投稿された研究において大きな知的貢献を果たした人物とする。それ以外は謝辞とする。

○研究論文の公表における不正行為および不適切な行為の定義

論文の投稿に関する不正行為や不適切な行為を禁じる。なお、論文受付時あるいは査読時に、二重・多重投稿やミスコンダクトが判明した場合、当該論文を受付拒否とする。

○原稿区分

研究論文は総説、原著論文、症例・臨床報告、速報、その他の5種類とし、いずれも他誌に未発表のものに限る。なお、総説は原則として雑誌編集委員会が企画するが、投稿も受け付ける。

1. 総説の定義

特定分野や主題について、関連文献や資料に基づき網羅的に分析・検討し総括的に論評した論文。

2. 原著論文の定義

下記の条件をすべて満たす論文。

- ① 学術上および技術上価値ある新しい研究成果が記述されている。論文として未発表である。
- ② 抄録・緒言・材料方法・結果・考察・結論・文献の形式で記述されている。

3. 症例・臨床報告の定義

個々の患者についての詳細な報告で、症状、兆候、診断、治療、追跡調査の詳細をまとめた論文。単に稀な症例ではなく、診断や治療の点で興味深い点があった、科学的に示唆に富む知見が得られた、新たな研究の仮説を得るためのきっかけになるものを取り扱っている。単一症例だけでなく、複数の症例を取り扱った報告も該当する。

4. その他

上述の規定に相当しないが、公表する価値がある論文で、調査研究、解説、コラム、トピックスなども受け入れる。

5. 投稿料

1ページ1万円の実費を5ページまで請求いたします。6ページ以降は無料とします。

付則

1. 本規定は令和5年6月から施行する。

投稿の手引き

1. 別刷はPDFとする。

論文の形式

1. 原著論文の形式は原則として表紙、英文あるいは日本語抄録、緒言、実験材料（または対象）および方法、結果あるいは成績、考察、結論あるいは総括、文献の順に記載する。原著論文以外の総説、症例報告、調査研究は、原則としてこれに準ずる。
2. 論文の表題、副表題は簡潔に内容を表したものであること。
3. 投稿原稿は口語体、新仮名づかい、平仮名、横書きとし、漢字は学術用語など特殊な場合を除き当用漢字を用いる。外国人名および地名は原語とする。
4. A4 判用紙を用い、横 30 字×縦 40 行とする。
5. 原則として、原稿は電子ファイルとして作成すること。フォーマットは以下に示す。

テキスト： Microsoft Word

図および表： Microsoft Office (DOC (X), XLS (X), PPT (X)), jpg, gif, png, EPS, TIFF, または pdf とする。印刷原稿の解像度として、300 dpi を必要とする。

表 紙

1. 表紙には中央上段より和文による表題、著者名、所属を記載し、その下に英文で表題、著者名、所属機関名、所属機関の住所を記載する。
2. 論文発行後の責任著者 (corresponding author) の氏名、所属機関名、所属機関の住所、メールアドレスを記載し、氏名の右肩に * を記載する。
3. 英文表題は冠詞、前置詞、接続詞などの付属語ならびに慣用の特殊語を除き頭文字を大文字、以下を小文字で記す。またハイフンでつながる複合語はハイフンの後は小文字で記す。
4. キーワード (索引用語) は 4 語以下とし、各語とも極力少文字数で表現する。
5. 論文内容を的確に表す 25 文字以内のランニングタイトルをつける。

抄録

1. 抄録本文は原則として 250~300 ワード以内とする。
2. 英文抄録の英文校閲が必要な場合、これに伴う費用は著者負担とする。

本 文

1. 本文は原則として緒言、実験材料（または対象）および方法、結果あるいは成績、考察、結論あるいは総括、文献の順に記載する。
2. 緒言、実験材料および方法、結果あるいは成績、考察、結論の見出しには数字をつけない。
3. 文中の項目を細分する場合は 1., 2., 3., 1), 2), 3), (1), (2), (3), a), b), c), の順によるものとする。
4. 本文中の文献引用箇所には、その右肩に片括弧で、本文中に出てきた順に番号をつける。
5. 文中の外国語 (欧文) は下記の通りとする。
 - 1) 人名：通常姓のみを記す。
 - 2) 製品名、製造者名：原語で示す必要がある場合は、頭文字を大文字、以下を小文字とする。
 - 3) 普通名詞：ドイツ語、ラテン語は頭文字を大文字、以下を小文字とする。英語、フランス語はすべて小文字で記す。

- 4) 学名：二名法により属名の頭文字を大文字、以下を小文字とし、イタリックで記す。3 回以上使用する場合は 2 回目以後属名を省略し、頭文字で表記する。例；*Streptococcus mutans* → *S. mutans*
- 5) その他：原語で示す必要がある場合は、慣用の特殊語を除きすべて小文字で記す。
- 6) 単位は原則として SI 単位系を使用する。Journal of Biological Chemistry, 1999 年, 274 巻 1 号, 551-552 頁を参照のこと。
- 7) 研究補助金についての記載、謝辞、その他の特記事項は結論の末尾に付記する。

利益相反

該当する利益相反がない場合も「申告すべき利益相反なし」と記載する。

文 献

1. 文献は本文末尾に一括して引用順に記載する。

2. 記載方法

- 1) 雑誌論文：引用番号・著者(著者は 3 名までを明記し、4 名以上の場合は「ほか」または「*et al.*」とする)・論文題目・掲載誌名・掲載号(巻)：通巻ページ始-終、掲載西暦年。

例；1. 山田太郎, 鈴木京子, 田中一郎ほか：アマルガム充填に関する研究。日歯保誌。37 (1)：2017-2022, 1994.

2. Clark AB, Erickson D, Hamilton FG: Tensile strength and modulus of elasticity of several composite resins. *J Dent Res.* 37(1): 618-621, 1992.

- 2) 単行本：引用番号・著者(共著者)：書名；上・下巻、刷数、出版社名、出版社所在都市名、引用ページ、発行西暦年。

例；3. Phillips RW, Skinner's science of dental materials；9th edition, WB Saunders Co., Philadelphia, 219-221, 1991.

4. Ellen R: Ecological determinants of dental root surface caries. In：Cariology for the mineties. Bowen WH, Tabak LA, editors; University of Rochester Press, Rochester, 25-35, 1993.

- 3) 翻訳書：引用番号・原著者(原語)：監訳者名：翻訳者名；翻訳書上-下巻、翻訳書版数、翻訳書出版社名、翻訳書出版都市名、翻訳書の引用ページ、翻訳書の発行西暦年。

例；5. Roskoski R Jr, 田島陽太郎, 監訳：秋野豊明, 石川喜一, 佐藤詔子, 田島陽太郎 翻訳；ロスコスキー・生化学, 初版, 西村書店, 東京, 339-353, 1999.

- 4) 印刷中の論文：引用番号・著者：論文題目；掲載誌名 掲載巻, 掲載西暦年, 印刷中。

例；6. Sato KE. Effect of tooth brushes on gingival abrasion；*J Periodont Res.* 29(1), 1994. 印刷中。

3. 掲載誌名の省略は原則として医学中央雑誌, Index Medicus で用いられている省略法を採用する。

図、表

1. 図(グラフ)、写真、表などは、本文中に挿入する。
2. 図・表にはそれのみで理解できるような説明(日本語)をつける。
3. 図と表の説明も本文の図表の後につける。

4. 図・表の縮小率は横幅が 7 cm または 14 cm を基準に記載する。
5. 図・表は、本文中に挿入すること。
6. 顔写真には「目隠し」を施して、その人物が特定できないよう配慮すること。

原稿の形式

1. ファイル構成；すべてを 1 つのファイルにする。

投稿原稿の送付

1. メールにて事務局まで送付する。ファイルの容量が大きい場合は、ギガファイル便を利用する。

「日本唾液ケア科学会誌」COI 申告書

筆頭著者名: _____

論文題名: _____

(著者全員について、投稿時から遡って過去 1 年間以内での発表内容に関する企業・組織または団体との COI 状態を記載)

項目	該当の状況	有であれば、著者名:企業名などの記載
① 報酬額 1つの企業・団体から年間 100 万円以上	有・無	
② 株式の利益 1つの企業から年間 100 万円以上、あるいは当該株式の 5%以上保有	有・無	
③ 特許使用料 1つにつき年間 100 万円以上	有・無	
④ 講演料 1つの企業・団体からの年間合計 50 万円以上	有・無	
⑤ 原稿料 1つの企業・団体から年間合計 50 万円以上	有・無	
⑥ 研究費・助成金などの総額 1つの企業・団体からの研究経費を共有する所属部局(講座、分野あるいは研究室など)に支払われた年間総額が 200 万円以上	有・無	
⑦ 奨学(奨励)寄付などの総額 1つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局(講座、分野あるいは研究室など)に支払われた年間総額が 200 万円以上	有・無	
⑧ 企業などが提供する寄付講座 企業などからの寄付講座に所属している場合に記載	有・無	
⑨ 研究、研修、教育、診療とは直接に関係しない旅費、贈答品などの提供 1つの企業・団体から年間 10 万円以上	有・無	

申告日 年 月 日

同意承諾書

日本唾液ケア研究会 理事長 槻木恵一 殿

年 月 日

下記に署名した著者は下記の表題の投稿原稿が「日本唾液ケア科学会誌」に掲載された際には、「同誌」の投稿規定により、そのすべての著作権（著作財産権 copyright）を貴研究会へ譲渡することを承諾いたします。

ヒトを研究（実験）対象とする内容については、ヘルシンキ宣言を遵守して、倫理的に行われていること、被検者あるいは患者にインフォームドコンセントが得られていること、所属施設の倫理委員会が設置された後の研究については当該委員会の承認を得ていること、動物を研究（実験）対象とする内容については、所属施設の動物実験委員会が設置された後の研究については当該委員会の承認を得ていること、各種の動物保護や愛護に関する法律や基準に則していることを確約いたします。

また、被検者あるいは患者から、誌上あるいは当学会が認めたネットワーク媒体上で公開されることに関して書面による承諾を得ていることを確約いたします。

また、下記の著者は、本論文がオリジナルであること、他の機関の著作権（著作財産権 copyright）も侵害しないこと、過去に誌上発表されていないこと、および他誌への投稿を考慮していないことを確約します。また、全著者が本投稿最終原稿を読み、投稿を承認したことを確約いたします。

表題：

筆頭著者名：